



平成 26 年 11 月 10 日

各 位

会 社 名 リバーエレクトック株式会社
代表者名 代表取締役社長 若尾 富士男
(コード：6666 JASDAQ)
問合せ先 取締役総務本部長 高保 譲治
(TEL. 0551-22-1211)

平成27年3月期第2四半期累計期間の業績予想と実績値との差異及び通期業績予想の修正、 並びに配当予想の修正に関するお知らせ

平成26年5月12日に公表した平成27年3月期第2四半期連結累計期間(平成26年4月1日～平成26年9月30日)の業績予想と本日公表の実績値について差異が生じました。また、最近の業績の動向等を踏まえ、同日公表の通期の連結業績予想並びに配当予想を下記の通り修正しましたのでお知らせいたします。

記

● 業績予想と実績値との差異及び通期業績予想の修正について

1. 平成27年3月期 第2四半期連結業績予想と実績値との差異(平成26年4月1日～平成26年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 2,473	百万円 △185	百万円 △201	百万円 △187	円 銭 △25.38
今回発表実績(B)	2,160	△416	△413	△397	△53.88
増減額(B-A)	△312	△231	△212	△210	
増減率(%)	△12.6	—	—	—	
(ご参考)前期実績 (平成26年3月期第2四半期)	3,101	9	93	84	11.52

2. 平成27年3月期 通期連結業績予想の修正(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 5,390	百万円 29	百万円 5	百万円 14	円 銭 1.92
今回修正予想(B)	4,729	△350	△388	△375	△50.91
増減額(B-A)	△660	△379	△393	△389	
増減率(%)	△12.3	—	—	—	
(ご参考)前期実績 (平成26年3月期)	5,734	△320	△177	△236	△32.11

3. 差異が生じた理由及び修正の理由

パソコン関連や自動車向けの受注は期初見通しに対して好調に推移したものの、ハイエンドスマートフォンの需要が想定以上に伸び悩んだことから、受注が大幅に低迷し、当第2四半期連結累計期間の売上高及び利益が公表値を下回る結果となりました。

第3四半期以降につきましてもハイエンドスマートフォンの新機種立上げ効果等の期待はありますが、依然厳しい状況が予想されます。今後は水晶製品の新品立上げによるプロダクトミックスの改善や固定費の圧縮等に取り組んでまいります。事業回復には時間を要するため、平成26年5月12日に公表した予想を修正するものであります。

● 配当予想の修正

1. 修正の内容

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
前予想 (平成26年5月12日公表)	—	未定	—	未定	未定
今回修正予想			—	未定	未定
当期実績	—	0.00			
前期実績 (平成26年3月期)	—	1.00	—	1.00	2.00

2. 修正の理由

当社は、長期安定的な企業価値向上によって、株主への安定的な配当を継続的に行うことを経営の最重要課題とし、連結業績及び配当性向等を総合的に勘案した利益還元を行うことを基本方針としております。配当性向につきましては、連結当期純利益の20%を最低の目安としております。

第2四半期末につきましては業績等を踏まえ、これまで未定としておりました配当予想を、誠に遺憾ながら無配とさせていただきます。

なお、期末配当予想については、今後の業績の推移等を踏まえて、決まり次第公表いたします。

(注) 本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づくものであり、当社としてその達成を約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は、様々な要因により大きく異なる可能性があります。

以 上